

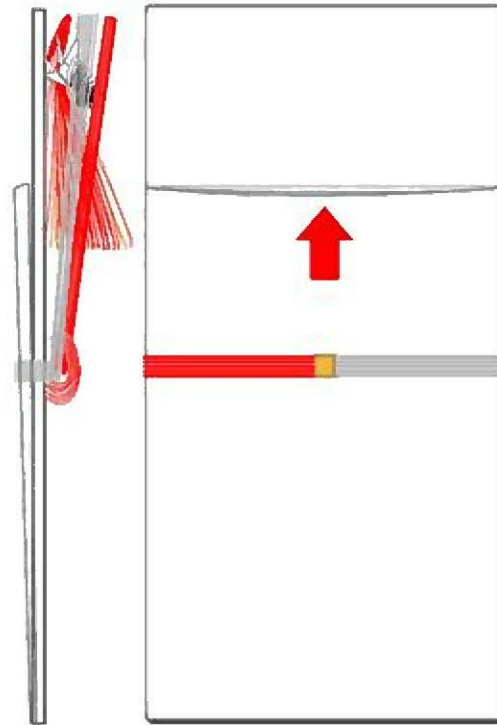


HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

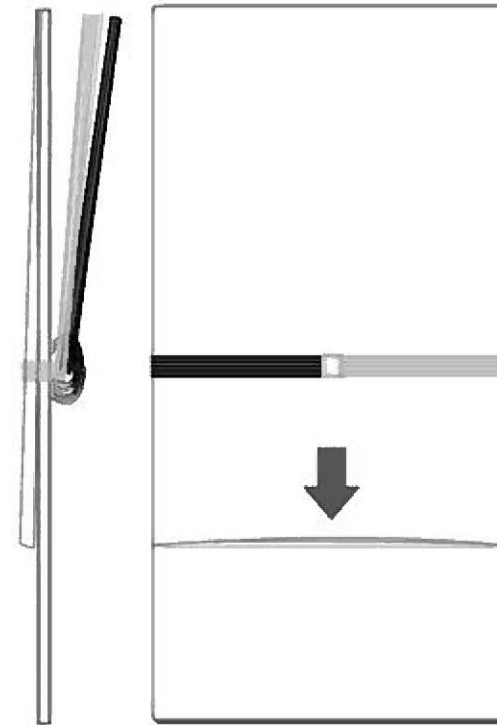
## 《祝儀・不祝儀袋の包み方学》

慶事 Ⅱ 下から受ける



慶事では、喜びを受け止める  
という意味から上向きに重ねます

弔事 Ⅱ 上からかぶせる



弔事では悲しみを流すという  
意味で下向きに重ねます



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

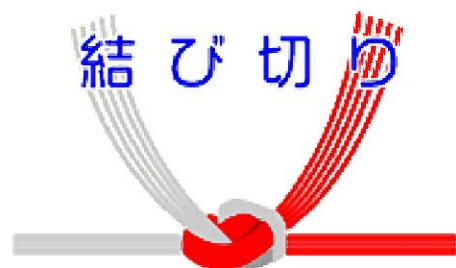
## 《水切り学》



蝶結び

**蝶結び** 主な用途:出産祝い・入学祝い

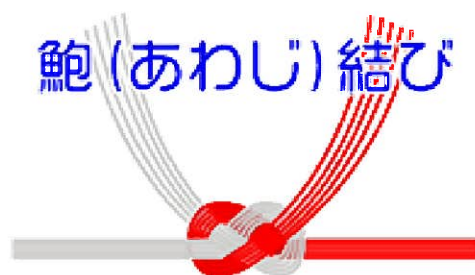
「何度あってもよい」慶事などお祝い事などに使用します  
弔事や病氣見舞いに使用すると、「不幸を重ねる」という意味  
となってしまいますので注意しましょう



結び切り

**結び切り** 主な用途:お見舞い・結婚式・葬儀

「繰り返すことのないように」という意味を持ちます  
弔事やお見舞い、婚礼など「繰り返す」ことが良くない場合に  
使用します



鮑(あわじ)結び

**鮑結び(あわじ結び)**

慶事、弔事共に使用することが出来ます  
輪の部分が鮑(あわじ)を表し、両端を引っ張るとさらに強く  
結ばれることから、「末永くつき合う」という意味も持ちます  
関西地方では幅広いお祝い用に、関東地方は結び切りと同様に  
使われることが多いです



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

## 《紐の色と結び方の組み合わせ学》

紐の色	結び	主な用途
赤白	蝶結び	祝い事全般に使用されます
赤白	結び切り	見舞いなど一度きりにしたい場合に使用されます
赤白	結び切り	紐が10本のものは婚礼用とされています
金銀	蝶結び	神事での祈禱やお祓いの際に使用されます
金銀	結び切り	婚礼の他、人生で一度の慶事に使用されます
黒白	結び切り	弔事、仏事全般に使用されます
黄白	結び切り	弔事、仏事全般で使用されています



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

## 《祝儀・不祝儀袋での金封の表書き学》

### 表書きの基本的なマナー

- ・ 毛筆か筆ペン、サインペンで書きましょう
- ・ ボールペン、万年筆の使用はNGです
- ・ 慶事は濃い墨で書きましょう
- ・ 弔事の場合は薄墨で書きましょう
- ・ 裏面には住所と名前を記載しましょう

お金の入れ忘れに注意!!



HEIANKAKU

# お金の入れ方編

## 《お金のオモテとウラ学》

お札にはオモテ面とウラ面が存在します。

人物（肖像画）の**ある**方が...**表**

人物（肖像画）の**ない**方が...**裏**

ご祝儀袋に入れるときに表と裏が必要になるので、覚えておきましょう。

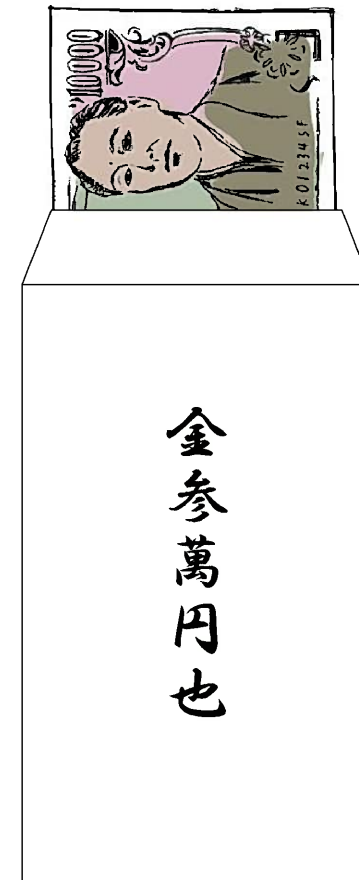


HEIANKAKU

# お金の入れ方編

## 《祝儀袋へのお金の入れ方学》

- お札は全て新札
- 表裏、向きを揃えて重ねます
- お札の表面が中袋の表に向くように
- 人物（肖像）が上に来るように



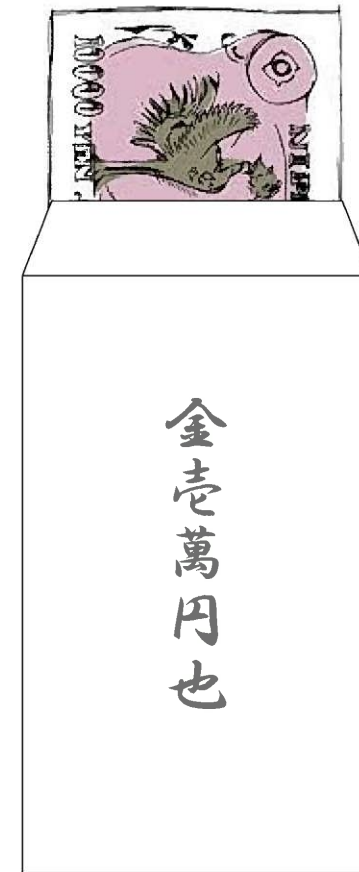


HEIANKAKU

# お金の入れ方編

## 《不祝儀袋へのお金の入れ方学》

- 新札はNG
- 表裏、向きを揃えて重ねます
- お札の裏面が中袋の表に向くように





HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

## 《氏名の記載方法学》



氏名だけでは誰か分からない場合などに  
名前の右上に会社や団体名を記載します



格上、年長または五十音順

連名の場合には右側が格上となります  
格などに違いが無い場合は年長者から  
年齢も同じ場合は五十音順で記載します





HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

## 《氏名の記載方法学》



格上、年長または五十音順

左上に贈る相手(宛名)を記載する場合には  
連名の順は通常とは逆の左側が格上です



夫婦や家族の連名の場合には  
苗字は省略して名前を連ねて記載します



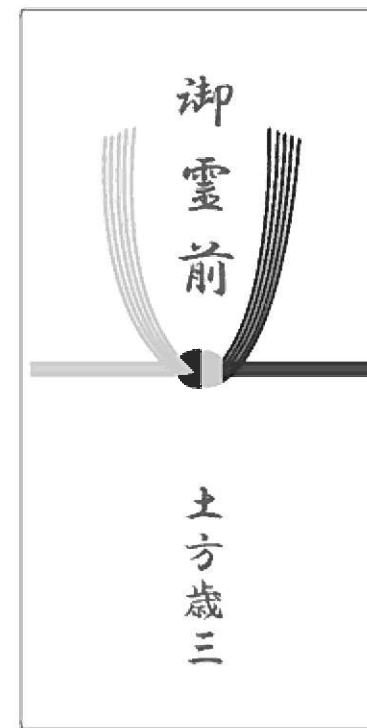
HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

## 《氏名の記載方法学》



四名以上の連名の場合には会社や  
団体名とするか代表者の名前などの左下に  
「外一同」と書き、全員の名前を書いた  
別紙を中包みに同封します



**薄墨**の筆ペンなども市販されています  
急な不幸などの際にも焦らず対応  
出来る様に一本は準備しておきましょう

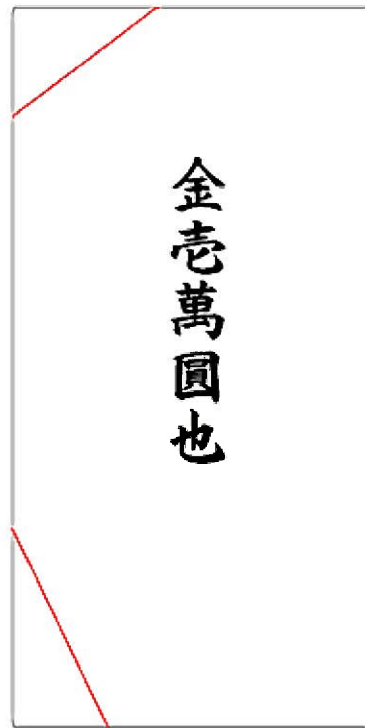


HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

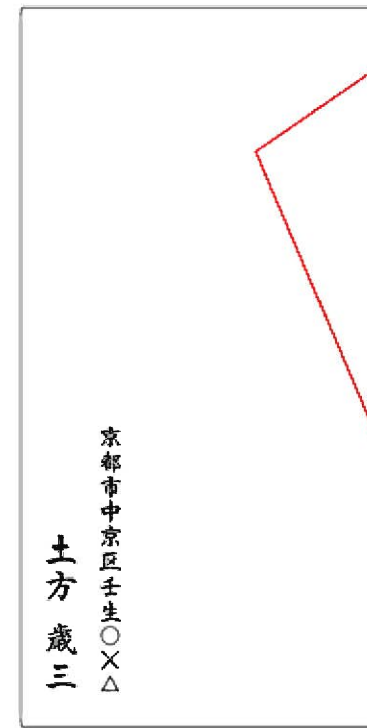
## 《中包みの記載方法学》

オモテ



表面には金額を記載します  
漢数字で旧字体で記入します

ウラ



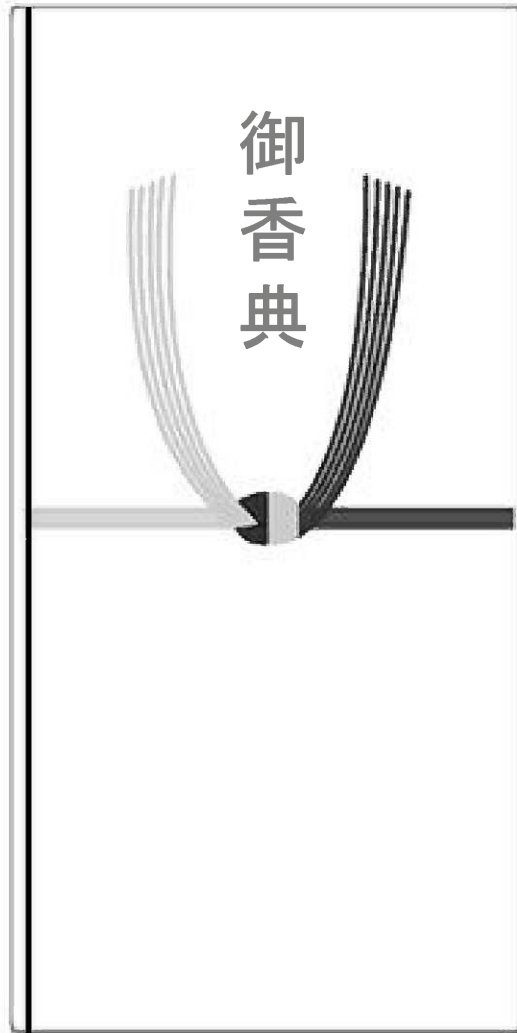
裏面左下に住所と氏名を記載します  
字体は崩さず受け取った相手を読みやすい  
字体で記入しましょう



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

《宗旨によって異なる不祝儀袋の表書き学》



仏式

御香典（ごこうでん）

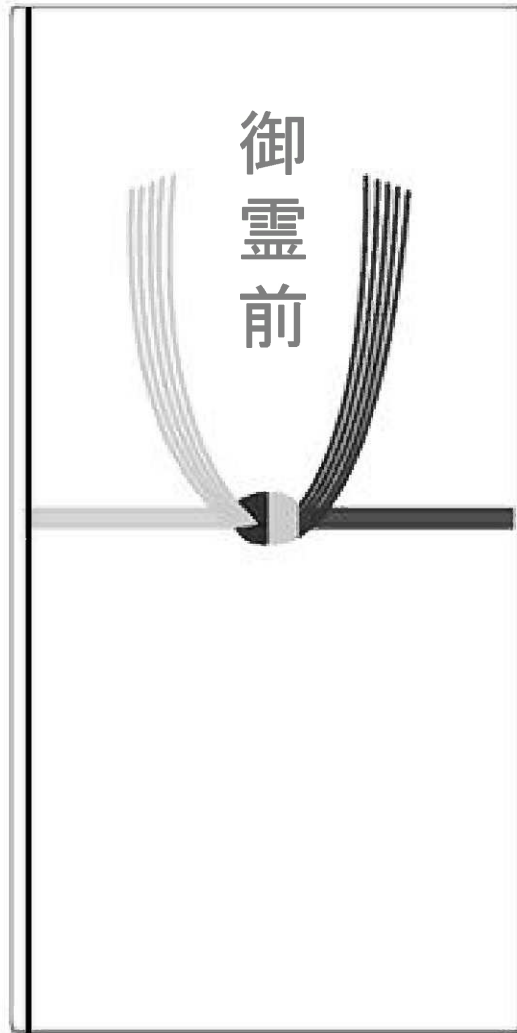
仏式 故人の霊前に  
香の変わりに供える  
お金包みに使います



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

## 《宗旨によって異なる不祝儀袋の表書き学》



仏式・神道・キリスト教

御霊前（ごれいぜん）

仏教・神道・キリスト教の霊前に  
金品を備える時に用います

仏式の葬儀では、  
通常「御香典」「御香料」を使います

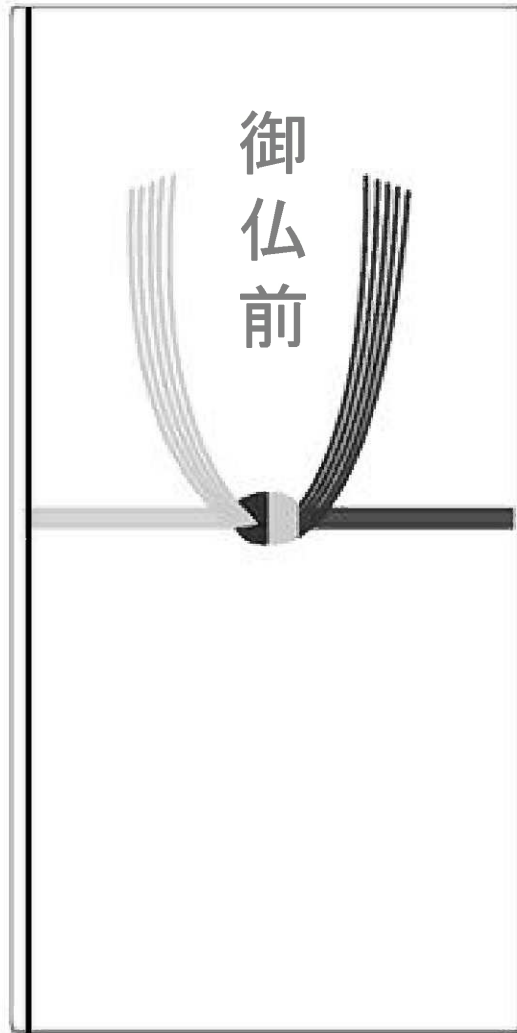
※ 浄土真宗では「御霊前」を使いません



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

《宗旨によって異なる不祝儀袋の表書き学》



浄土真宗

御仏前（ごぶつぜん）

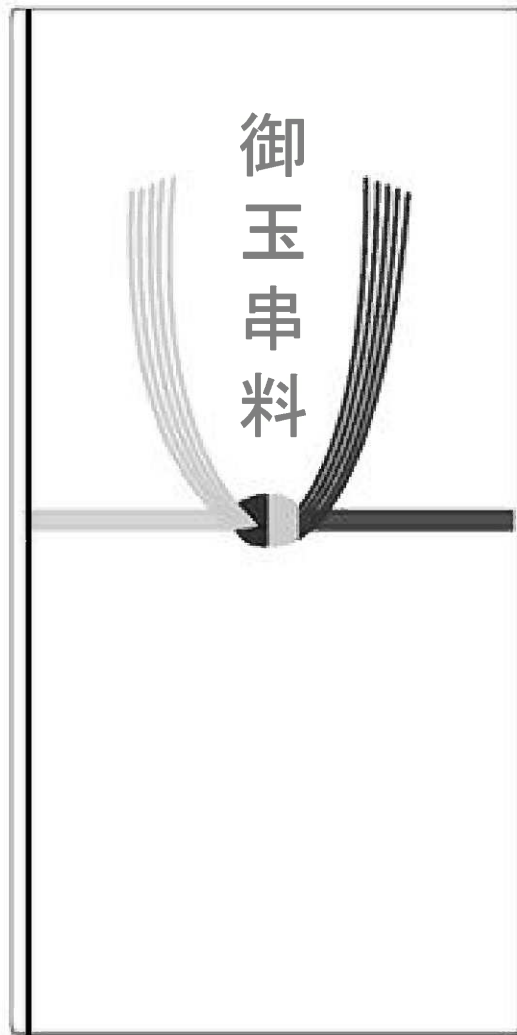
仏式の葬儀では香典の表書きは御霊前が一般的だが、浄土真宗の葬儀は「御仏前」を使います



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

《宗旨によって異なる不祝儀袋の表書き学》



神道

御玉串料（おたまぐしりょう）

神道の葬儀で使う表書きは

「御玉串料」のほか

「御榊料」や「神饌料」など

※ 一般神事にも用います



HEIANKAKU

# 熨斗(のし)の基本知識編

《宗旨によって異なる不祝儀袋の表書き学》



キリスト教

御花料（おはなりょう）

キリスト教式の葬儀で

カトリック、プロテスタント

いずれの宗派にも使用できます。



# 袱紗(ふくさ)編

## 《袱紗(ふくさ)の基本知識学》

祝儀袋（不祝儀袋）をむき出しで持っていくのは失礼にあたります。

袱紗に包むのが基本ですが、なければ小風呂敷や大きめのハンカチやスカーフで代用してもOKです。

お祝い事とお悔やみ事により袱紗の色や包み方が異なります。

間違えないように注意しましょう。



HEIANKAKU

# 袱紗(ふくさ)編

《袱紗(ふくさ)の色分け学》

暖色系の明るい色は **慶事用**

寒色系の沈んだ色は **弔事用**

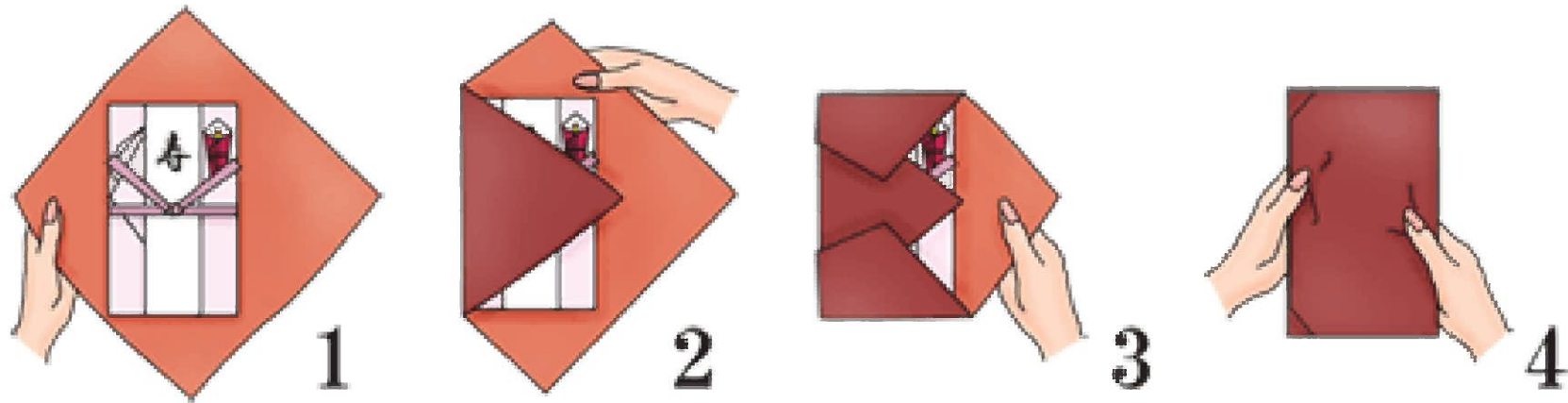
**紫色**はどちらにも使えるとされています



HEJANKAKU

# 袱紗(ふくさ)編

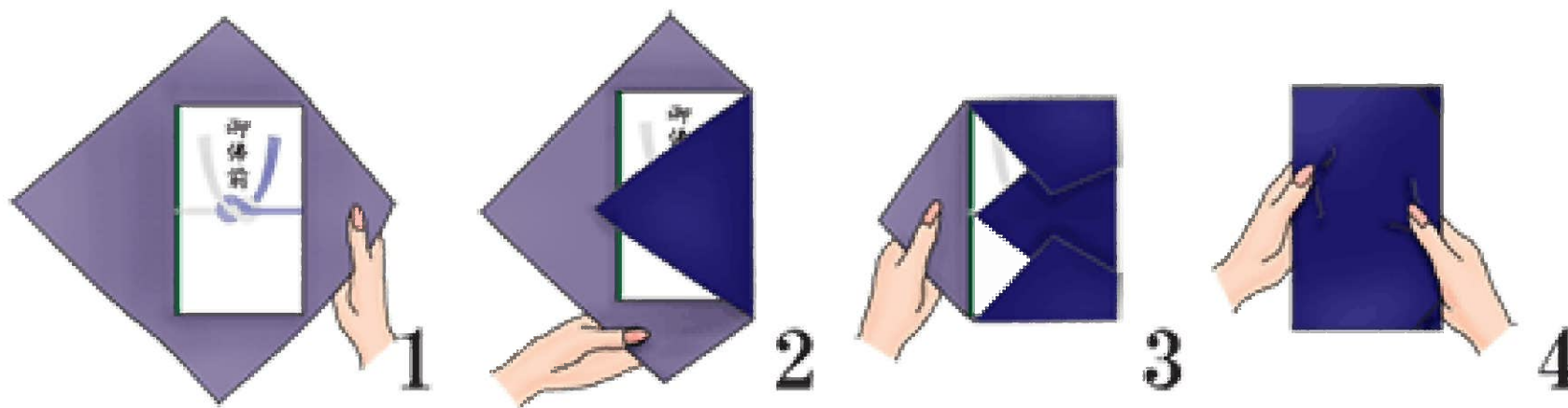
《お祝い金を持参する場合の包み方学》



1. あらかじめ祝儀袋を袱紗中央よりやや左の方へ寄せておく
2. 左を中に折り込む
3. 上をたたみ、次に下をたたむ
4. 右を折り裏へ折り返して完成 (左の上下に小さく三角形ができる)

# 袱紗(ふくさ)編

《お悔やみ金を持参する場合の包み方学》



1. あらかじめ不祝儀袋を袱紗中央よりやや右の方へ寄せておく
2. 右を中に折り込む
3. 下をたたみ、次に上をたたむ
4. 左を折り裏へ折り返して完成（右の上下に小さく三角形ができる）